

居合道で使う人体の解説

- 水月すいげつ = 鳩尾 (みぞおち)・胸の骨の下中ほどのくぼんだところ
- 丹田たんでん = 臍の下5～6cm位のところ
- こめかみ = 米をかむと動くところ・耳の上・髪の毛の生え際
- 項うなじ = 首の後ろ側
- 盆ぼんの窪くぼ = 項うなじの中央の窪んでいるところ (けいか)
- 掌たなごころ = 手の平
- 頸動脈けいどうみやく = 喉の両側を走る大きな動脈
- 動脈どうみやく = 血液を心臓から身体の各部へ運び出す血管
- 静脈じょうみやく = 身体の表面にあって青黒見える血管・身体に酸素を送った後炭酸ガスの多い血液を心臓へ運ぶ
- 眉間みけん = 額ひたい・眉と眉との間
- 面めん = 全頭部から額ひたいの真中を指して真向まっこうと言う (額から鼻筋)
- 横面よこめん = こめかみから顔を斜めに袈裟に切る
- 二の腕にうで = 肩ひじと肘の間
- ひかがみ = 膝の後の窪んだところ・うつあし・よぼろ・内脚・日葡ひっかがみ
- 上腰うわごし = 骨盤上部の屈折し得るところ
- こむら = ふくらはぎ・ひ腹部
- 膝坊主ひざぼうず = 膝頭すね・脛の上端と腿ももの下端間の関節前面